

プロフィール

目次

注意事項

- ・本レポートにおける事業年度は、前年の4月1日からその年の3月31日までです。
- ・本レポートに記載されている金額は、億円および百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・本レポートの財務データは、日本の会計基準および関連法規に基づいて作成したものであり、当社の英文アニュアルレポートとは異なる部分があります。
- ・Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、太陽誘電は、これら商標を使用する許可を受けています。
- ・本レポートの記載内容は、2017年6月29日時点のものです。

免責事項

本レポートは、太陽誘電グループの業績および事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、太陽誘電およびグループ会社の株式購入や売却を勧誘するものではありません。本レポートの内容には、将来の業績に関する意見や予測などの情報を掲載することがありますが、これらの情報は、現時点の当社の判断に基づいて作成しています。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更することがあります。本レポート利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。また、本レポートの無断での複製・転記などを行わないようお願いいたします。

太陽誘電は1950年の創業以来、「素材の開発から出発して製品化を行う」を信条として、時代のニーズに合った電子部品の開発と量産化に取り組み、グローバルに事業展開することで成長を続けています。

また、経済価値を高めていくと同時に、利害関係者からの要求や期待に応え社会的責任を果たすことでも社会価値を高めていくことを目指し、製品の安全・品質に加え、労働・人権、安全衛生、環境、倫理といった取り組みにおいても責任をもち活動しています。

経営理念

- 「従業員の幸福」
- 「地域社会への貢献」
- 「株主に対する配当責任」

企業ビジョン

- 「お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ」

- 01 太陽誘電のビジネスモデル
- 02 太陽誘電の市場環境と事業の展開
- 04 太陽誘電のビジネスフィールド
- 06 太陽誘電の注力市場
- 07 太陽誘電の強みと特長
- 08 財務・非財務サマリー

10 社長メッセージ

11 社長インタビュー

社長の登坂が、売上高3,000億円、ROE10%以上という中期目標達成に向けた経営方針や成長戦略、2018年の見通しや資本政策についてご説明します。



16 特集:

IoT時代到来に向けた生産革新 [smart.E]プロジェクト ビッグデータ活用でものづくり力を強化

IoT時代の本格到来を前に、これまでとは比較にならない大量生産時代にも対応できる生産体制確立への取り組みをご説明します。



20 営業概況

- 20 At a Glance
- 21 コンデンサ
- 21 フェライト及び応用製品
- 22 複合デバイス
- 22 その他
- 23 トピックス

24 太陽誘電グループの研究開発活動

- 26 コーポレート・ガバナンス
- 30 太陽誘電グループのCSR活動
- 34 取締役・監査役および執行役員
- 35 財務セクション
- 36 11年間の財務サマリー
- 38 財務レビュー
- 40 連結財務諸表
- 48 会社情報
- 49 株式情報
- 50 太陽誘電の歩み